

— ぜひ ご家族皆様さんでご覧ください —

Angels 通信

稲野エンジェルス季刊報

平成 26 年 1 月発行

第 10 号

基本野球で大勝利を!

理事長 藤原 進



将棋(しょうぎ)を覚えた少年が父親と対局した。歩兵の駒(こま)を一枚二枚と取られようが気にせず豪快(ごうかい)だが、粗(あら)い手ばかりを指す少年は、何度やっても勝てなかった。

父が言った。「歩のない将棋は負け将棋だよ」。

敵陣に入るや「と金」と成り、金将と同じ働きをして時に勝負を決する

存在となる。何事も地道に一步、また一步と足跡を刻(きざ)み前進して

こそ、勝利が見えてくるものだ。

「破竹(はちく)の勢(いきおい)」という言葉がある。一つの竹の節(ふし)を

割れば、後は一気に割れることから、止めることのできないほどの勢いを指す。

竹のように選手を伸ばし、竹のように勢いよく

わがチームの勝利の前進を目指そう。

【2014年 1月からの予定】

1月 5日 (日)	事始め会 (東天神社参拝 駅伝大会 餅つき 初練習)
2月 23日 (日) 頃	第36期定期総会
3月 2日 (日) ~	兵庫県スポーツ少年団大会 (6年生)
3月 9日 (日) ~	兵庫県少年野球ジュニア選手権大会 (5年生)
3月 中旬 頃	スポーツクラブ21 稲野 エンジョイベースボール開催
3月 21日 (祝) 頃	第36期生卒団式 お別れ会

情熱と感謝

総監督 中堂 慶



皆様、新年あけましておめでとうございます！

昨年は覇権奪回・がむしゃら野球を目標に掲（かか）げて、6年生が県大会準優勝という輝かしい成績を残しました。おめでとう！卒団までにシニア杯・猪名川杯の両大会に出場しますが、昨年末スポーツ少年団県大会への出場の知らせも飛び込んできました。最後の大会に向けてこれが稲野、これがAチームという熱い情熱と支えてくださった方々へ感謝の気持ちを、選手・役員で作り上げてください。しっかりと支援・協力していきます。

「野球は感謝するスポーツ」 野球を通し、立場を越え情熱をもって、一生懸命（いっしょうけんめい）駆（か）け抜けた人にだけわかる言葉です。エンジェルス5か条の「ありがとうという感謝の心」その名の通り、すべてのことに感謝することを忘れてはいけません。「誰のために野球をするのか、なぜ野球をしているのか」新しい年にもう一度原点に戻り、信頼する仲間とともに、感謝という言葉の意味を考えていきましょう。

今年も選手・指導者・父兄の皆さん 熱い情熱をもって常勝稲野を目指しましょう！

*Aチーム 高橋 将文監督

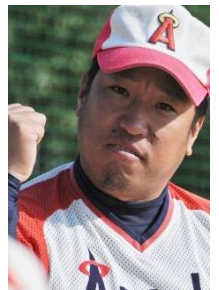
6年生も残すところあと3ヶ月となりました。夏には県大会準優勝を果たしたもののその後、なかなか結果を出すことができませんでした。

2月にはリトルシニア杯、猪名川大会、3月には伊丹市で開催されるスポ少県大会があります。3月まで公式戦ができる喜びをかみしめながら、最後にもう一花咲（さ）かせるよう頑張ります。皆様のご協力とご声援をよろしくお願ひします。



*Bチーム 島川 雅樹監督

昨年1年間の準備期間を経（へ）てやっとスターラインに立つことができました。大きく飛躍（ひやく）する年にしたいと思います。まずは、「伊丹イチバン」を勝ち取り、それを足掛（あしが）かりに全学童、ジュニア選手権と試合をこなし、夏まで全力で駆（か）け抜きたいと思います。その為には、選手を中心に、父兄、スタッフ一丸になって戦って行きたいと思いますので、皆様の応援よろしくお願ひします。



*Cチーム 坂尻 雅治監督

昨年、チームは2度の市内優勝、からたち杯ベスト4など期待以上の成績を収めることができました。選手はじめ球団スタッフ・父兄が三位一体となって勝ち得たものだと思います。指導者としては成績が良いのはもちろんですが、連盟や他球団の方々から「稲野はチームワークが良い」と評価いただいたことが何より嬉（うれ）しく感じております。野球は「個」が注目され「個」の力が勝れば簡単に勝てることがありますが、「線」の力、チームワークで勝つことの方が大事だと思います。特に小学生の間はそのことをしっかりと学び、次にステップして欲しい。その基本方針はこれからもブレることなく指導にあたりたいと思います。

